

# 個人情報について考え方！

あなたの個人情報は大丈夫？

市役所は市民の個人情報を集めて業務で使っています。業務で見るなら問題はないのですが、好奇心や感情で個人情報を見ていたら大問題。のぞかれた情報がどう不正利用されるか、私たちには分からぬのです。

数年前、社会保険庁の「のぞき見」事件というものが報道されました。芸能人や国會議員の年金加入記録を業務外で見ていた職員が約3000人いたことが分かり、2005年懲戒処分に。個人情報を外に漏らした3人は刑事告発されたのです。

さて青梅市では

市役所コンピュータの中の私の個人情報を職員がどれだけ見ているのか、7年分を情報公開請求し調査・分析しました。

○7年間に80件のアクセスがあった。  
○本来私の個人情報を見る必要がない高齢介護課や資産税課が個人情報・世帯情報などを10回にわたり見ていた。  
担当課は何の業務のためか説明できなかった。

青梅市は調査を拒否

「徹底的な調査を」と議会で求めましたが、市長の答えは「条例で禁じているから職員はそういうことはしない」「うっかり見るとこともある」「だから調査はしない」とのこと。

管理職が繰り返し3回も見ていますが、これって「うっかり」と言えるのでしょうか。

市が「調査をしない」のは、組織を守るために「臭いものにはフタ」ということですか。住民のプライバシーを守るのは後回し。これでいいのでしょうか。

(3月一般質問)

市役所が保有する個人情報とは・・・  
住所・世帯構成・勤め先・保険・収入・納税額・固定資産・身体状況（障がい・介護）など

議会内会派名〈みどりのオンブズマン〉 ひだ紀子議会報告 vol. 14 2012. 3

連絡先：〒198-0171 青梅市二俣尾2-520 フォレスト青梅201  
tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com  
☆議会の様子は市議会ホームページで動画をご覧になることができます。  
☆ひだ紀子のホームページもご覧下さい。

# みどりのオンブズマン



旅行や外出の時にそこの市役所に立ち寄ることにしています。「ふーむ、これはいい」「青梅でも取り入れたいな」と発見がたくさんあるのです。「ほかの町と比べるな」と議会でヤジられたことがあります、いえいえ、比べることはとても大切なことだと思います。

永山北部丘陵の開発計画に反対する市民運動をしていた時、青梅市役所に大きな壁を感じずにはいられませんでした。約10年前、長期計画の資料を見たくて窓口に行ったとき、管理職の職員が「市民に閲覧させる時は、こういう形で・・・」と説明したのにも驚きました。そうした物言いには強烈な「お上意識」が感じられたからです。



青梅市議会議員

ひだ 紀子

議会報告

vol. 14

## まだまだ壁が

青梅市役所も変わりつつはありますが、まだまだと思うところもあります。たとえば市長が、年間約3億円もの業務委託先の代表とトップ会談をした時の記録をちゃんと作っていなかったため、どういう合意をしたのか、ついに知ることができませんでした。莫大なお金がかかる下水道計画を立てた時の府内の検討会の重要な議事録が行方不明ということもありました。

こういうことにぶつかると、ふつうの市民を置き去りにするような利権・特権が大嫌いな私は「おかしいな」と思います。

広い視野で「これから私たちの町はどうしていくべきか」を共に考えるために、市役所自ら透明性を高める努力をしないと、市民の信頼も得られないのではないでしょうか。

市民と市役所の間の壁を一つ一つなくしていかたいですね。



おかしいことは  
おかしいと  
いえる町に

脱原発パレードに参加！



里山自然を再生！  
カエル池の春

